

# 第1章 調査研究の概要

## 1 調査研究の趣旨・目的

近年、今後の社会教育行政において多様な主体との連携・協働の推進やネットワーク化が重視され、その体制づくりや関わる人材の育成が求められている。県でも、地域学校協働本部の組織化や県立学校でのコミュニティ・スクールの導入などを見据え、学校を核とした地域力の向上を目指している。

そのために、学校と地域がそれぞれの特性を生かして取り組む「連携」と、それぞれの教育資源を組み合わせることで共通した目的の達成を目指す「協働」の体制を整えているところである。

そこで、本調査研究では、今後の社会教育行政の充実に資するため、「連携・協働による地域活性化事例」について調査する。今年度は、地域の教育資源として高等学校や特別支援学校高等部に着目し、地域との連携・協働に関する各校の具体的な取組や意向について情報収集し、傾向を分析する。また、分析結果や収集事例を踏まえ、学校との連携・協働の体制を整えるために、今後の社会教育行政の果たす役割と可能性について考察する。

## 2 調査研究の方法

- (1) 調査研究委員会を設置する。調査研究委員会は、事業の全般的な計画を立案し、調査結果を評価・分析するとともに報告書にまとめる。
- (2) 学校と市町村主管課双方の連携・協働に関するニーズをアンケートで調査する。
- (3) 学校が地域や市町村と行う連携・協働の事例について聞き取り調査をする。

## 3 調査対象

- (1) 県内の高等学校（61校）及び特別支援学校高等部（15校） 計76校  
うち、聞き取り調査の対象として12校を抽出

(事例抽出校)

- |                                  |                                     |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 県立十和田高等学校  | <input type="radio"/> 県立増田高等学校      |
| <input type="radio"/> 県立小坂高等学校   | <input type="radio"/> 県立雄物川高等学校     |
| <input type="radio"/> 県立五城目高等学校  | <input type="radio"/> 秋田市立御所野学院高等学校 |
| <input type="radio"/> 県立新屋高等学校   | <input type="radio"/> 県立横手高等学校定時制課程 |
| <input type="radio"/> 県立矢島高等学校   | <input type="radio"/> 県立能代支援学校      |
| <input type="radio"/> 県立大曲工業高等学校 | <input type="radio"/> 県立栗田支援学校      |

- (2) 県内25市町村の生涯学習・社会教育主管課

#### 4 調査研究の内容

##### (1) 学校及び市町村主管課の連携・協働のニーズに関するアンケート調査

学校と市町村主管課双方に対して、連携・協働の取組状況、連携・協働で取り組むべき内容、期待する効果等に関する意向のアンケート調査を行った。

##### (2) 学校における市町村との連携・協働事例の聞き取り調査

抽出校に対して、平成28及び29年度において地域や市町村と連携して行った特色ある取組の概要、具体的な内容や体制、地域貢献や地域連携の方針や特色、行政との連携において求める成果等について聞き取り調査を行った。

##### (3) 調査結果の整理・分析と考察

アンケート調査をもとに、学校と市町村主管課が求める連携・協働のニーズや意向を分析し、今後の社会教育行政の果たす役割と可能性について考察した。

また、学校の聞き取り調査をもとに、取組の概要と展開等についてまとめ、成果と課題、連携・協働の事例の中で見られる社会教育行政の関わりについて考察した。